



2014-2015年度
国際ロータリー第2720地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2720



ロータリー米山奨学生紹介

将来日本と母国、世界を結ぶ「懸け橋」となって
ロータリー運動の良き理解者となる人材の育成をし
平和と国際理解の推進をする

米山記念奨学会部門

2014学年度 ロータリー米山奨学生名簿

氏名	大学	性別	国籍	世話クラブ	カウンセラー	頁
オウ イチヒョウ 王 一萍	熊本学園大学	女性	中国	菊池	山田 純策	2
リン コウアン 林 浩安	熊本学園大学	女性	台湾	宇城	土谷 壮司	3
ヒツ ロウチョウ 畢 露超	熊本県立大学	女性	中国	熊本城東	田村 卓	4
チャン ビョンチャン 張 炳昌	熊本大学	男性	韓国	山鹿	田口 淳	5
ヨウ リョウ 葉 凌	熊本大学	男性	台湾	熊本	中島 敬高	6
チョウ エイ 趙 睿	熊本大学	女性	中国	熊本中央	丹後 秀庸	7
リ シュウジツ 李 秋実	崇城大学	男性	中国	人吉中央	宮原 正名	8
ソ メイ 蘇 明	大分大学	男性	中国	大分 キャピタル	大野 保洋	9
ギョウ ミョウ 牛 苗	大分大学	女性	中国	臼杵	田中 陽一	10
ゴ ゼヒョク 高 在赫	日本文理大学	男性	韓国	杵築	有田 頼正	11
チャンタラチャムノク ,セックサン	別府大学	男性	タイ	宇佐2001	麻生 哲	12
ボク テンブン 朴 天文	別府大学	男性	中国	別府	安部 徹	13
リュ ヨミン 柳 與民	立命館アジア 太平洋大学	女性	韓国	湯布院	田内 康男	14
モハメット イカラム, モハメット イシャスハム	立命館アジア 太平洋大学	男性	スリランカ	別府北	神宮司 円	15
ホン サンウォン 洪 常源	立命館アジア 太平洋大学	男性	韓国	大分1985	吉良 昌一	16



オウ イチ ヒョウ
王 一 萍

世話クラブ 菊池ロータリークラブ
 出身国 中国
 在籍校 熊本学園大学・国際文化(博3)

出身地の紹介

皆さん、こんにちは！私は上海の出身です。1843年上海が通商港として開港してから、英米仏日など各国の租界が設置された結果、1931年には6万人を超える外国人が居住していました。80年あまり経った現在では、214カ国・地域から14万ほどの外国人が居住する国際都市になりました。外灘など旧租界地域の欧米アジアの文化が融合した街並、近代的な高層ビルや商業施設の数々に目を奪われる綺麗なところですよ。また、上海の名物である「焼き小籠包」は硬めの皮にスープがたっぷり入っているので、とってもおいしいですよ！ぜひ上海にいらっしゃって下さいね。

日本での生活について

熊本に留学に来て、五年目を迎えております。過去の四年間はあっという間に過ぎてしまいましたが、非常に貴重な四年間だったと思います。日本に来て、順調に修士課程に進学して、二年後博士後期課程にも進みました。勉強する傍ら、県内の語学学校や専門学校や大学などで非常勤講師として中国語教育にも従事しているので、充実した毎日を送っています。また、今年度からロータリーの奨学生として採用されたので、新しい友達を作ったのみならず、自分のカウンセラーである山田社長から人生のやり甲斐や社会奉仕の大切さについて、色々教えてくださったお蔭で、自分自身の視野が広がったと実感しております。

今学んでいること

私は中国語学という学問分野に取り組んでおります。研究対象となるのは19世紀の上海方言を記した欧文資料です。具体的に言うと、外国人宣教師に英語やフランス語で編集された上海方言の史料に基づいて、言語学の理論を応用して、語彙及び文法、特に単音節動詞の語義と用法をメインに研究を進めております。その他、中国語音声学、音韻論、語彙論や文法論などで多くの事を学び、学会や雑誌等で自身の研究成果を発表してまいりました。

将来の夢や目標

博士課程を卒業後、自分が今まで学んできた言語学の知識を発揮し、教育の現場でもっと多くの方に語学の面白さと自分自身が留学の経験で感じ取った異文化理解の大切さを伝えていきたいと思っております。

将来の夢は上海方言と多国語対照の辞書を作成することです。今までの辞書は日英か日中のような二か国語のほうが一般的ですが、私が作りたいのは上海方言、中国の標準語、そして英語、日本語とフランス語の訳が全部ついているもので、世界各国の人が誰でも利用できるバリアフリーの辞書です。私は修士課程から方言の研究を中心に研究しておりますが、言語の障害を乗り越えて、世界共通の辞書があったら、違う国の人の方がもっとコミュニケーションが取りやすくなるのではないかとずっと考えているので、卒業後は自分の研究を掘り下げて、しっかり夢に向かって、外国語という言葉の壁を少しでも取り除けるように、頑張っていきたいと思っております。



カウンセラーから一言

山田 純策(菊池ロータリークラブ)

将来の夢と目標を読ませていただきました。こんな難しくて、大変役に立つ勉強をしておられるとは思っていませんでした。世界各国の人たちが言葉の障害を乗り越えた世界共通の辞書を作り上げることは大変素晴らしいことです。あなたならきっと目標を達成させることができると信じています。

今後とも頑張ってください。



リン コウ アン

林 浩 安

世話クラブ 宇城ロータリークラブ
出身国 台湾
在籍校 熊本学園大学・国際文化(修2)

出身地の紹介

私の出身地は、台湾の南部一高雄です。高雄は、台北の次に大きな町で、大きな貿易港がある工業都市で、人口は277万人です。地下鉄もあり、夜市や昔からある古いお店に行くことができ、とても便利です。暑いのは、気候だけではなく、人々のハートも温かく「台湾南部の人は、人情味がある」という言葉をよく聞きます。また、海に近いので、様々な魚介類が獲れます。海鮮料理も楽しめますし、パイナップル、バナナ、ライチの名産地なので、機会があればぜひ食べてみてください。

日本での生活について

日本に来た最初のころは、わからないことがいっぱいありました。電話のかけ方とか、ごみの捨て方とか、買い物の仕方とかです。全部ゼロから勉強しなければいけませんでした。一番大変なことは、台湾では、親がしてくれていた洗濯や買い物などを、何でも自分でしなければいけないことです。最初のころは、練習と思って頑張って周りの人に声をかけたりしていましたが、挨拶の後に、何を続けて話したらいいのかわかりませんでした。心の中はいつも不安でした。日本のみなさんとうまく付き合うことができるか、失礼なことはしていないか、などを考えました。何か月か後、日本語が上達するにつれて、日本人の学生との交流もうまくでき、新しい友達ができました。お互いのことを色々お話しして、今では日本に来たばかりの不安が、少しずつ消えていって元気になりました。留学するといろんなことがあります。一番の問題は、寂しいということですが、楽しいこと、嬉しいこと、辛いこと、苦しいこといろいろあります。これらの経験は、私にとってとても貴重な体験になっています。留学先に日本を選んで良かったです。日本、ありがとう！

今学んでいること

一、日本人は、どんな小さいことに対しても、いつも感謝の気持ちを持っていると思います。「先日は、どうもありがとうございました」。もう過ぎってしまった過去の出来事を、今も忘れない感謝の気持ちがとてもいいと思います。二、日本人は、どんな時でも、自分の方から先に謝ることに驚きます。例えば、不注意に人にぶつかったとき、相手の方は悪くないのに、相手から先に「すみません」と言っていました。三、日本人は、分からない事があるとわかるまで親切に教えてくれます。また、困っている人に親切にしてあげるといふ日本人の温かい心が印象深いです。日本にきて、一年が経ちました。日本の社会の文化や生活の便利さに驚いています。また、親切な日本人の心の温かさも強く印象に残っています。「日本に来て本当に良かったです！」

将来の夢や目標

私は、以前から母国台湾で、日本語教師として大学の教壇に立ちたいという夢があります。幸い1年前に日本の大学院に入ることができ、夢に少し近づきました。しかし、日本語や日本文化は、知れば知るほど、修士論文に関する研究は、もちろんのこと、それ以外の活動についてもできるだけ視野を広げて学びたいと思うようになり、具体的な目標・計画を立てることにしました。

まず、最初にしたことは、大学院在学中に日本語教育能力検定試験に合格することです。日本人の現役日本語教師でもなかなか合格できない難しい試験ですが、私の夢の実現のためには必須に資格です。そして次にしたいことは、国際交流のボランティア活動に積極的に参加することです。ボランティア活動を通じて、世界的に視野を広げ、その国の文化を理解するとともに、日本の社会にも多少なりとも貢献したいと考えています。そして、最後は、台湾に帰り、大学で教育・研究活動に従事したいと考えています。台湾の大学には、たくさん日本語専攻学科がありますが、日本に留学した先生方による教材は、量的にも質的にもまだまだ不足していると感じます。台湾で使用されている多くの日本語教材は、日本で日本にいる留学生向けに作成されたもので、台湾人による台湾人向けの教材には、特徴や研究成果が感じられないものが多いです。私の現在の研究と留学経験を生かし、生涯両国の交流に貢献したいと思っています。



カウンセラーから一言

土谷 壮司(宇城ロータリークラブ)

林 浩安さん

貴方を見てみると、日本人より日本人らしいと感じます。決して悪い意味では無く 貴方が持つ、向上心 そして、強い意志 尊敬しております 日本の文化に触れ日本を好きになったり嫌いになったり葛藤の時期だと思えます。貴方の素直さと本気で日本を知ろうとする気持ちを大切にこれからも頑張ってください。天真爛漫そんな言葉がよく似合うと私は思います。カウンセラーとして日本をもっと知っていただくお手伝いができたらいいなあと思います これからも、どうぞよろしくお願ひしますね。



ヒツ ロウ チョウ
畢 露 超

世話クラブ 熊本城東ロータリークラブ
 出身国 中国
 在籍校 熊本県立大学・総合管理学(学4)

出身地の紹介

私の出身地は中国山東省青島市です。東京からまっすぐ西へ約2000km、ちょっとでっばった半島が山東省という場所で、その先端のほうです。成田または関西空港から直行便があり、約2時間強で行けます。青島市は面積は1万9500平方Kmになります。人口は710万人、市区の人口は240万人です。夏の平均気温は摂氏23.8度で、冬の平均気温は摂氏 -0.7 度となります。青島市は中国の海洋産業の中心都市であり、2008年の北京オリンピックのセーリング競技や2009年の第11回中華人民共和国全国運動会のサブ会場は青島に位置しており、また、2014年国際園芸博覧会が青島で開催されています。

日本での生活について

日本に来て5年間が経ちました。1年目は熊本湖東カレッジ専門学校日本語科で日本語を勉強しました。初めて日本の住まいの狭さについてはなかなか慣れませんでした。でも、生活してきてから、日本人の優しさ、街のきれいさ、秩序よくきちんとルールを守る日本人のことが好きになりました。大学に入学してから、日本人の学生と接触する機会が多くなり、周りすべてが勉強になる環境の中で、毎日少しずつ、成長して行く自分を感じることができます。更にロータリー米山奨学生になって、ロータリークラブの活動を参加すると共に今までに経験したことのないことを体験したり勉強したり、そういう充実している生活を送っています。

今学んでいること

私は経営学について研究しています。経営政策に関する理解を深めながら、今は財務諸表を分析して、収益性、生産性、安全性、不確実性、成長性という5つの側面から企業を評価することを研究しています。企業の良し悪しを測るのには人、モノ、カネといわれるが私はこの中の金の部分に注目しアプローチしました。財務諸表を使って自己資本比率や流動比率を求め、中長期的、短期的に分けて企業の将来性を計ることができ、その中で企業の資産運用の良い点や悪い点を明らかにします。更に今年は今まで分析したことを基にして、企業目標の形成のために色々な経営資源をもって効率的に運用できることを研究しています。

将来の夢や目標

現段階の目標は今まで研究した財務諸表分析を利用し、各企業の強みや弱みを知ることによって、企業目標の形成のために色々な経営資源をもっと効率的に運用できることについて研究し、卒業論文としてまとめたいです。

日本留学を終えた後は、上海にあるユニクロという会社に入社して、5年後、総合管理学部において勉強した知識と仕事の経験と中国企業の実情を鑑みて、父親が倒産した会社を立て直したいです。まだ、帰国した山東省の元米山奨学生達を集めて、中国の貧しい山間地域における生活水準の向上について力を尽くしたいと思って、ロータリーの奉仕精神を継いで、中国と日本との懸け橋となって、国際社会で活躍したいです。



カウンセラーから一言

田村 卓(熊本城東ロータリークラブ)

畢さんは、性格はちょっと人見知りな所がありますが、慣れてくるとよく話してくれます。

日本語はお世辞にも上手いとは言えませんが、聞き取り、書き取りは間違えなくできています。ただ、敬語、謙譲語がうまく使えないので、皆様を怒らせるかもしれませんが、大きな心で見ただけであればと思います。性格は、一言で言うと「謹厳実直」であります。例会は月に必ず2回は出席し、又例会受付には11時30分に来て、後から来る会員に挨拶をし例会開始12時30分まで受付を行っています。例会に参加しては卓話等興味を示し、ロータリーを理解しようとよくメモを取っている姿を目にします。



チャン ビョン チャン

張 炳 昌

世 話 ク ラ ブ 山鹿ロータリークラブ
出 身 国 韓国
在 籍 校 熊本大学・建築学(博2)

出身地の紹介

私の出身は韓国です。韓国の中でも田舎だと知られている江原道原州市です。原州はソウルから電車と車で1時間くらいかかる都市であり、二つの高速道路が交差して韓国内のどこでも行きやすい地域でもあります。市の中には国立公園もある自然豊かな地域です。名物としては桃、梨、韓牛などがあります。また医療機器産業が発展していて、医療機器専門の産業団地や医療機器技術センターなどがあって、国内外からたくさんバイヤーが訪問します。2018年に韓国で開催される冬季オリンピックの都市である平昌の隣でもあり、これからの発展が期待されている都市です。

日本での生活について

私は2011年度に交換留学生として熊本に来ました。そして韓国に帰って大学を卒業した後、大学院生としてまた熊本にくるようになりました。その理由の一つが熊本が本当に住みやすいところだと思ったからです。水、緑、人情など、魅力的な都市だと思いました。そのような環境で自分は学校で研究をしたり、バイトやボランティアなどでいろいろな人と出会ったりして、学生として外国人として頑張っている生活しています。また、日本にいた間に日本のいろいろなところに行って、その地域ならではの体験をしたいという思いがあり、北海道から石垣島まで社会研究を行うために行ってきました。それが本当の日本のことを知るみちだと思っています。

今学んでいること

私は今まちづくり研究課に所属されています。それで、日本や熊本のまちの形成過程やまちおこしのための方法などについて勉強しています。また湯前などでまちおこしのための祭りにも参加したりして、熊本県の発展のためになにがいいかについて考えることについて勉強しています。その中、自分が一番興味がある分野はまちの中にまちのストーリーを飾って、観光客が楽しむことだけではなく、住民たちも誇りをもつことができるようなまちを作ることです。そのため、熊本の中にどのようにストーリーを作るかについて考えている中です。

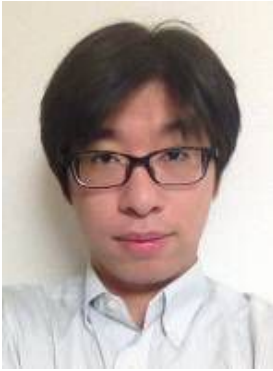
将来の夢や目標

私は観光に関する仕事をしたいです。特に、衰退している地域を探し、そこに地域ならではのアイデンティティをそのままを利用して住民たちが誇りを持つようにまちをデザインしてみたいです。他の地域では見られないことを探し、それを利用して観光客を呼ぶということです。それを日本でするか、帰国して韓国でするかはまだわかりませんが、できれば二つの国で自分の力を出してみたいのが現在の夢です。そして私は熊本が好きでまたこちに来ました。そのため、熊本と韓国の架け橋になって自分を必要とすることに力を入れたいのが将来自分の目標でもあります。

カウンセラーから一言

田口 淳(山鹿ロータリークラブ)

張 炳昌 君は、非常にまじめで勤勉な性格をしていると思います。彼のような人材が、日本と韓国の架け橋となって、両国の友好と発展に寄与してもらえればと切に願っているところです。是非、将来の夢をかなえてもらいたいです。



ヨウ
葉 リョウ
凌

世 話 ク ラ ブ 熊 本 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ
出 身 国 台 湾
在 籍 校 熊 本 大 学 ・ 文 化 学 (博 3)

出身地の紹介

周知の通り、第二次世界大戦終戦まで50年間、台湾は日本に領有されていました。日本語が話せる年配の方は少なくないです。また、日本に親近感を感じる若者も多いです。九州と同じぐらいの大きさの台湾では、日本語学科を有する大学は50校を超えたそうです。現在台湾の住民の多くは昔中国からの移民です。それゆえ、生活習慣や文化は台湾独自のもののほかに、中国、日本に大きく影響されています。私は台湾の中部の苗栗県から参りました。外国人によく知られているところではありませんが、客家人が多く集まる県で、桐の花、お茶が有名です。

日本での生活について

家内と二人の子供と一緒に熊本に住んでいます。昼間は学生として学校の授業、自身の研究を進んでいますが、夕方から親として子供の世話をしなければなりません。ほかの留学生と比べて、自分の時間は少ないですが、家族と一緒に住んでいて心が安らかに落ち着けると思っています。子供連れの留学生生活は大変ですけど、保育園のイベントなど単身の学生が体験できないことを経験できます。自分の研究のほかに、違った分野の方々との交流を大切にしています。熊本で出会った方々との思い出は一生忘れられない宝物です。

今学んでいること

村上春樹を研究対象として博士論文を進んでいます。村上春樹はデビューからよくアメリカ文学に影響されるといわれています。彼自身もアメリカ作家に対する愛着を述べています。しかし、彼の作品には日本の古典文学に共通する部分が認められています。また、1995年の地下鉄サリン事件、阪神淡路大震災に対する関心はよく論じられています。さらに、村上春樹は故・河合隼雄氏との進捗を深めていました。以上の三点が彼の作品にどのように影響していますか。なぜ村上春樹が世界中によく読まれていますか。これは私の研究テーマです。

将来の夢や目標

大学院でしっかり勉強して学位を取って台湾に戻って大学教員になることは、私の留学の目的でした。しかし、来日三年目にあたって、私はいつのまにか何か変化が起きて、台湾人としてできることはないかと考え始めました。ちょうどそのとき、熊本が台湾の高雄市との友好関係を進んでいるニュースをみて、台湾とのビジネスを積極的にする熊本電鉄のアルバイトを始めました。私がやっていることは大したものではありませんけど、私なりに着々と台湾と日本との架け橋になろうと努めています。卒業したら台湾に戻って台湾人に熊本、九州の良さを紹介するのは素晴らしいことだと思いますが、それは多くの先輩たちが既に行っていることです。私は日本で台湾のことを現地に発信しようと思っています。卒業しても熊本に残って頑張ります。



カウンセラーから一言

中島 敬高(熊本ロータリークラブ)

学問の研究をベースとし乍らも、熊本の実社会に触れて、少しずつ変化している葉君が、更に大きく羽ばたけるように、応援していきたいと思えます。



チョウ
趙

エイ
睿

世 話 ク ラ ブ

熊本中央ロータリークラブ

出 身 国

中国

在 籍 校

熊本大学・医学(医博4)

出身地の紹介

長春市は、中華人民共和国吉林省に位置する副省級市で同省の省都。長春の市区人口は358万人、都市圏人口は750万人の大都市である。吉林省政府が所在し、省内の政治、経済、文化の中心地となっている。長春は中国東北地方の主要都市のひとつとして、農業、漁業、林業、工業が盛んである。

日本での生活について

中国からの私費留学生として、来日5年間、経済の壁を実際に感じました。アルバイトをしながら勉強しました。生活費と授業料の捻出が大変でした。米山奨学金を頂いてから、学業に専念できました。

今学んでいること

私の研究テーマは「リボソームタンパク質 S19 架橋化多量体の急性炎症消退における役割」です。末梢血から分離された多核球はリボソームタンパク質 S19 多量体は多核球のアポトーシスを推進すると共に、単球/マクロファージを走化させる。このリボソームタンパク質 S19 多量体とC5a受容体による多核球のアポトーシスと単球/マクロファージの動員の同期化が急性炎症を終息させ、活性化多核球による過剰な組織破壊を抑制している。

将来の夢や目標

将来的に、疾患についてのトランスレーションリサーチチームの一員となり、出身地である中国吉林省をはじめとして、全世界へ提出できる治療薬の開発に努力したいと思います。自分が携わった研究で生まれた薬が疾患症状を軽減したり、病気を完治させることを願っています。地域の人々生活を改善し、社会に役に立つ仕事をしたいと思います。



カウンセラー 丹後 秀庸(熊本中央ロータリークラブ)



リ シュウ ジツ
李 秋 実

世 話 クラ ブ 人吉中央ロータリークラ:
出 身 国 中国
在 籍 校 崇城大学
応用微生物工学科(学4)

出身地の紹介

私の故郷は徐州という中国江蘇省北西部の都市である。徐州は、元来は山東省南東部と江蘇省の長江以北の地域を指した漢代の地方区分の名称であった。古称は彭城(ほうじょう)とも称す。市域内の沛県は劉邦の故郷であるほか、彭城は項羽の都となっていた。徐州は2600年に及ぶ悠久の歴史を有するため、歴史的な意味が持っている。さらに、徐州は位置的に山東省、江蘇省、河南省、安徽省の四つの省に接しているため、古代より各地の軍勢が争奪する地であり、各地の商人が集まる地でもあった。この古き、歴史感のある徐州はずっと私の誇りだった。

日本での生活について

私は日本に来て、今年で6年目になります。最初に熊本の専門学校で2年間日本語を勉強しました。その時に同じ外国人の友達と仲良くして、楽しい2年間を過ごしました。大学に入ってから、自分の楽天的な性格ですぐ同級生たちと馴染むことができました。アルバイトや部活などで、更に友達が増えました。毎日学校の授業、部活、アルバイトの生活は楽しく充実しています。私の人生の中でも貴重な経験だと思います。今年から四年生になって、研究室での実験がメインの生活を送っています。私は実験が好きなので、頑張っています。

今学んでいること

私の所属は応用微生物工学科のため、微生物の基礎知識、生物有機化学、生物化学などを3年間を勉強しました。4年生から研究室に配属され、現在は主にカビの細胞壁生成に関する糖転移酵素を研究しています。微生物の利用は食品や環境に関わるというイメージが強いですが、人類は微生物に対して未知の部分が多く、遺伝子から機能解析は基礎研究として欠かせないものです。

将来の夢や目標

私の夢は科学研究者として自分の研究分野で活躍することです。科学は社会、国、人類を支えているものであり、進歩の証です。知らないことを知ろうと思うのが人類の本能だと思います。私は幼い頃から物知りの人に憧れ、自分もなりたいたいと思いました。昔から自分と違う生き物に疑問があるため、学校ですべて生物をメインで勉強してきました。大学に入って、普段目で直接見えない微生物に興味があり、その微生物のことを研究しようと思いました。自分の趣味を仕事としてすることがベストなので、後は諦めずにやり続けることです。学生時代に一人前の研究者になることが現在の目標です。



カウンセラーから一言

宮原 正名(人吉中央ロータリークラブ)

研究課題等で忙しい中、しかも遠方の人吉へ例会は勿論、夜の新旧交代例会や納涼例会そして人吉花火大会等精力的に参加し、ロータリー精神そして日本の地域文化事を身体で学んでいる姿に嬉しく頼もしく感じています。



ソ
蘇
メイ
明

世話クラブ 大分キャピタルロータリークラブ
出身国 中国
在籍校 大分大学・地域政策(博3)

出身地の紹介

私の故郷は武漢です。武漢は中国の中部の湖北省のキャピタルです。中国の一番長い川が武漢を通過しているから、武漢は江の城といわれています。武漢はいろいろと特徴があります。一つとしては、武漢の交通です。中国の真ん中にあるため、武漢から、中国のどこにもいけるということがあるから、中国の交通センターといっても、過言ではありません。それで、武漢は今、それをアピールにし、発展しています。もう一つとしては、武漢の大学が多いです。200以上の大学があるため、中国の源になっていると思います。

日本での生活について

大分に来てもう7年目になりますが、振り返ったら、あっという間でした。最初、大分に来た時に、日本語が全然出来なかったの、寂しかったり、困ったりすることがありました。しかし、大分の皆さんが優しくいろいろしてくれたから、だんだん日本の生活に慣れました。今、日本の生活が好きです。買い物も便利だし、食べ物も美味しいし、大分に温泉もとても気持ちいいし。休みの時、友達と温泉に入ったり、カラオケに行ったり、料理を作ったり、旅行をしたりしています。とても、良くて、充実できる生活を送っていると思います。

今学んでいること

私の研究テーマは地域政策です。その中で、私はEU(欧州連合)を中心に、いろいろ勉強しています。統合というテーマでは、いろいろ議論があるため、非常に面白いです。例えば、現在の金融危機の解決法の説はいくつかあります。それで、私は、統合理論からはじめ、さまざまな政策や問題を見てきた下で、最も適切な道に辿り着こうと努力しています。そして、私の考えは多段階の統合(differentiated integration)が今EUの危機の一番の解決法ではないかと研究しています。それに、アジアにいい研究が出るように、私も助言もしたいと思っています。

将来の夢や目標

私の夢はやはり、先生になることです。小さい頃から、父の影響で、ずっと、先生に憧れていました。特に、日本に来てから、自分の成長がどんどん伸びてきました。今の自分がすべて大分そして、日本のお陰だと思っています。それで、私は、出来る限り、日本で、専門や言語の先生になって、日本の生徒さんに教えたいと思っています。すぐなくとも、恩返しとして、地域に貢献できたらいいと思います。そして、自分の第二故郷である大分と武漢の架け橋になるように、頑張っていきたいと思っています。



カウンセラーから一言

大野 保洋(大分キャピタルロータリークラブ)

日本語もとても上手で尊敬しております。我がクラブの例会にも積極的に参加してくれて感謝しております。例会時には、30分前には会場に来てくれて、出席委員会と一緒に会員のお迎えをしてくれています。この方であれば必ず中国と日本の懸け橋になってくれると信じております。残された時間は、あまりないですがロータリークラブを少しでも理解していただけるように、我々も努力していきたいと考えております。

蘇 明君に感謝。



ギョウ
牛

ミョウ
苗

世話クラブ

臼杵ロータリークラブ

出身国

中国

在籍校

大分大学・建設工学(修2)

出身地の紹介

私は河南省出身です。河南省は中国の中心部に位置し、華夏文明の発祥地であり、中国の八大古都のうち4つは河南省にあります。そして、重要文化遺産の数も全国において最も多いです。その内、特に少林工夫の発祥地である少林寺は世界にもよく知られています。河南省は中国の農産品や食品の大産地、特に小麦の産量は全国総産量の1/4を占めています。「河南Huimen」は河南省の特色で、大分の名物の団子汁と似ています。しかし、スープは羊骨で作られています。とてもおいしいです。

日本での生活について

私は体を動かすことが大好きで、日常的にジョギングやバトミントンをしています。時間があれば、山登りにもいきます。最近では研究室の仲間にテニスを教えてもらっています。また、研究室では気分転換として、よくパズルをします。みんなと一緒に1000ピース以上のパズルを完成させた時、なによりも楽しいです。

また、今はボランティアとして、中国語を学びたい日本人に中国語を教えています。日本人とコミュニケーションを取ることで、日本文化の理解においても大変助けになりました。

今学んでいること

私は都市計画研究室に所属し、地域の個性や潤いのある生活環境と密接に関わる文化的景観の保全・活用に関する研究をしています。今は別府の鉄輪・明礬温泉地区の重要文化的景観の保全・活用に取り込んでいます。また、修士論文は「景観まちづくり団体」が文化的景観の保全・活用において、どのように取り込んでいるのかについて、全国的な傾向を明らかにすることを目的としています。

将来の夢や目標

近年、中国の都市化気運が高まっていくにあたり、自然集落は1日約80個が減りつつあります。それらの自然集落は中国の農耕文化や伝統住宅・習俗を伝承しており、中国の貴重な文化財であります。中国において、如何に政策的かつ計画的に地域の歴史や文化、くらしの個性の重要性を位置づけるかが重要であると考えます。今後は、自然村落の保全についての研究もしたいと考えます。

私は研究をすることが大好きです。今は大分大学の修士2年生で、これから博士に進学し、将来は大学の先生になることは私の目標であります。日本で見た、感じたや学んだことを中国の学生に教えることが私の将来のやりたいこと、私の夢となります。また、ロータリーの一員として、自分の力で国際奉獻をすることは私の責任だけではなく、奉獻することも私の夢の一つであります。



カウンセラーから一言

田中 陽一(臼杵ロータリークラブ)

カウンセラーは初めての体験、女の人の父親になるのも初めての体験で最初はとまどいましたが徐々に牛苗さんと打ち解けることができました。まずは仲良くなることに重きを置いていたもので、娘が今何を学んでいるか詳しい話は聞いておりませんが、会話の中から無口でまじめで積極的に研究をしている姿が目につかびます。また、クラブのメンバーともすぐに打ち解けてくれて例会でも積極的に話をしている様子を見ると微笑ましく思います。今後は私の家族を含めてさらに仲良くしたいと思いますと共に、研究や生活で困ったことがあればアドバイスしていこうと思っています。役に立てばいいのですが・・・



ゴゼ ヒョク
高 在 赫

世話クラブ 杵築ロータリークラブ
出身国 韓国
在籍校 日本文理大学・建築学科(学3)

出身地の紹介

韓国のソウル出身です。ソウルは韓国の首都として、日本の東京みたいな所です。大分からソウルまでの飛行時間と大分から東京までの飛行距離が一緒なので日本のすぐ隣に位置しているため、気軽にいて来ることができます。ソウルでは現代的な建物以外にも、伝統家屋とか文化遺跡がいっぱいあるので、独特な雰囲気を出しています。是非お訪ね下さい。

日本での生活について

大分市の大在という地域で一人暮らしの生活をしています。学期中には大学に通ったり、近所の焼肉店でバイトをしています。何よりも日本人の友達と一緒に旅行に行くことが好きです。楽しいことだけではなく日本語の勉強にも役に立つので一番大きいメリットだと思っています。

今学んでいること

今、日本文理大学工学部建築学科3年生として、勉強しています。設計を行う建築家や設計技術者、構造設計、施工を行う施工技術者として、安全で安心できる建築をつくるための高度な専門知識と技術を学んでいます。

将来の夢や目標

自分がイメージするデザインを実際のものに表現できるようなプロフェッショナルな建築家になるのが将来の目標です。そして日本の耐震設計分野に対しても興味を持っています。韓国施設安全公団によれば、全国191棟の主要施設物の中、耐震設計がされていない施設物が100棟だといっています。韓国は地震安全国だと思うはずですけども、去年93回の地震が起こったようです。こんな安全不感症を持った結果、今回セウォル号沈没事故が起こったと思います。機会ができれば日本の耐震設計を身につけ、後で韓国で耐震技術が適用された建物を建てたいです。



カウンセラーから一言

有田 頼正(杵築ロータリークラブ)

高君と最初にお会いして、おとなしく、真面目そうな青年という第一印象を受けました。担当の島岡先生も存じ上げていましたし、私自身が建物の設計を仕事にしていますので、最初から他人とは思えない、そんな気持ちで今までつきあって来ています。会うたびに、家族の事、兵役の事、将来の夢・色んな話をするのですが、誠実な受け答えと、将来のことを真面目に考え、それを話してくれる高君は大変頼もしく、夢を持ってこれから建築の仕事に進もうとしている彼の少しでも、役に立てばと思う。幾度と無くお会いしていますが、受けた第一印象は、間違っただけではありませんでした。



チャンタラチャムホング セックサン

世話クラブ 宇佐2001ロータリークラブ
出身国 タイ
在籍校 別府大学
日本語・日本文学(博3)

出身地の紹介

私は、タイのチェンマイの出身です。チェンマイは、北部地方最大の都市で、タイ北部の中心都市です。チェンマイは首都のバンコクより約700km北に位置しています。お堀に囲まれ、街の至る所に寺院があり、その数は100を超えます。100を超える寺院が建立されていて日本の京都に似ていると言われています。北部地方は比較的気候が涼しくて、山岳地帯の多い地域です。物価も安くてバンコクに比べれば若干安い程度です。チェンマイの人々は、静かな心持と柔らかな物腰といった穏やかな人柄です。家族や友達を大切に、他人にも優しき心をもって接します。いつも各国から訪れる人々を笑顔で歓迎しています。

日本での生活について

日本に来たばかりの頃、とても寂しかったです。勉強もとても難しく、毎日ストレスがたまっていました。周りにいらっしゃる日本の方々のおかげで、只今、それらの悩みがなくなりました。食事・遊びにもよく誘って下さっています。だんだん友達が多くなりました。とても良かったです。学業以外の活動については、私はボランティア活動をやっています。私は「子供と遊ぶこと」が大好きです。別府に来てから今まで、子供に関わるいろいろなボランティア活動をやりました。たとえば、別府市立図書館で子供に本を読み聞かせるボランティア活動や別府発達医療センターで病気の子供と遊ぶボランティア活動などです。

今学んでいること

私は、別府大学の博士後期課程の大学院生です。3年生です。只今、別府大学大学院の日本語・日本文学研究科で「顔が広い」、「頭が上がらない」、「気が長い」などの日本語の「慣用句」について研究しております。タイ語にも「慣用句」がありますが、日本語の慣用句とタイ語の慣用句はどのように類似しているか、どのように異なっているかを只今考察しております。その考察がおわったら、研究の結果をまとめて、学位請求論文を書きます。あなたは、「慣用句」についての興味をお持ちになっているでしょうか。日本語の「慣用句」についてのいい情報があれば、お教えになっていただければ嬉しいと思います。

将来の夢や目標

私は、2000年から日本語の教師の仕事を始めました。12年間働いてきました。2年半前、自分をもっと日本語を勉強したら、自分の生徒たちにもっと日本語・日本文化について教えられるようになるのではないかと思いますから、仕事を休職させてもらって日本の留学することに決めました。日本での勉強が終わったら、必ず国へ帰って日本語の教師の仕事に戻ります。日本でいろいろな勉強したことをタイ人の学習者たちに教えます。授業の仕事以外、教科書、本、写真集などの日本語の教材を作りたいです。それは私の一つの夢です。日本で勉強した日本語や体験した活動や日本の方々からいただいた優しさなどを整理して、本を書きたいです。その本によって、日本語と日本の社会と日本人の素晴らしさを、タイの社会に伝えて行きたいと思います。



カウンセラーから一言

麻生 哲(宇佐2001ロータリークラブ)

来日以来、短期間で学んだ日本語、きれいな発音と適格な表現力にびっくり！
日本文化に興味を持ち勉学に励む意欲旺盛な米山奨学生。
最近の若い日本人より日本人らしいタイ国の好青年。



ボク テン ブン
朴 天文

世話クラ → 別府ロータリークラブ
出身国 中国
在籍校 別府大学・国際言語・文化学科(4年生)

出身地の紹介

私の出身地は中国です。2013年末、中国の総人口(台湾、香港、澳門を除く)は13億6072万人だったと発表しました。中国の人口は世界でNO1、面積はNO3です。中国には56コの民族があります。漢民族以外の55コの民族は少数民族と呼んでいます。漢民族の人口は中国人口の92%、55コの少数民族の人口は合わせて中国人口の8%を占めています。私は中国の朝鮮民族です。

日本での生活について

もう日本に来て3年半になりました。一年目は一生懸命に勉強して、日本語能力試験2級、日本語能力試験1級に合格しました。2年目からアルバイトを始めました。アルバイト先の日本人はみんな優しく、親切でした。アルバイト先で接客仕事をしながら、自分の日本語能力をアップしました。日本で日本人、韓国人、中国人、ネパール人などいろいろな国の人と友達になることができました。日本の文化が好き、環境がいい、日本人が優しい、親切だから、日本は生活しやすい国だと思います。

今学んでいること

別府大学の文学部で日本語の文法、日本の作品、作家、日本の歴史、法学、英語などに対して勉強しています。そして、興味によって基本的な医学内容、外国語なども勉強しています。

将来の夢や目標

将来の夢は日本語の教師です。日本で学んだ日本の文化、生活に対して、将来の生徒さんたちに教えたいです。大学を卒業したら、大学院に進学して、日本語に対して、もっと詳しく勉強したいです。旅行が好きで、中国と日本の観光地だけではなく、ほかの国の観光地も旅行したいです。そして、いろいろな国の文化、生活に対して了解したいです。



長崎県の平和公園

カウンセラーから一言

安部 徹(別府ロータリークラブ)

朴くんは狭き門をくぐり抜けて米山奨学生に採用されただけあり大変優秀な学生だと感じております。また第一例会の僅かな時間しか話をしていませんが、今回の夏季研修会をとお互いの信頼関係が築ければと思います。



リュ ヨ ミン
柳 與 民

世 話 ク ラ ブ 湯布院ロータリークラブ
出 身 国 韓国
在 籍 校 立命館アジア太平洋大学
国際関係(学4)

出身地の紹介

私は韓国のDAEGUという所の出身です。DAEGUは外国人に対してはあまりに知られてない都市ですが、韓国の大きい五つの都市の一つでございます。DAEGUはソウルより電車で約3時間、プサンより電車で約1時間ほどかかります。DAEGUの大きい特徴としては山に囲まれていることです。周りに海がなくて山に囲まれているため、非常に熱い都市であります。そのため、DAEGUは韓国の中で夏に一番気温が高い都市でございます。また、世界陸増大開が行われるぐらいにどんどん世界的な町になり、外国人観光客の数も増えている都市になっています。

日本での生活について

私は今立命館アジア太平洋大学という非常に国際的な環境に恵まれていながら日本での留学生活を楽しんでいます。特に、日本だけではなくて様々な国から来ました学生達と交流しながら異文化に対する理解力を高めています。また、学校内でのサークルや活動を通じましてコミュニケーション能力や日本人との交流を深める努力をしています。

今学んでいること

私は現在企業の社会的責任を国際開発と連携し、「NGOの限界点を企業が補う」というテーマを基にする論文を準備しています。NGOと企業の仕組みを比較することで低い資本力、非効率的な人力管理のようなNGOの限界に対する対策を見つけ、国際開発により効率的である成果を出せる案を研究しています。さらに、企業の社会的責任が世の中に貢献するとともに会社の利益も得られるということを述べ、社会と企業の発展を同時に満たす案を求めるのを論文の目標として定めます。

将来の夢や目標

私はこれから富士ゼロックス内で全世界企業のコミュニケーション向上のための仕事がしたいです。特に、香港やシンガポールなどの英語圏国にある富士ゼロックス自社での勤務経験を通じまして日本国内だけではなく、全世界のコミュニケーションを向上させる企業として富士ゼロックスの事業を展開したいです。また、個人的にNGO活動に興味が深く、富士ゼロックスのCSR活動を国際的なスケールまで拡大させる企画を担当し、企業の利益と社会的責任を同時に達成することで会社の存在意味に貢献したいです。さらに、富士ゼロックスが単純な複合機の提供を超え、ソリューション営業を通じまして顧客の課題解決とともにコミュニケーション場を作りながら会社内の総合的なコミュニケーションがより効率的にできるように支えられ、社内だけではなくて社会内のコミュニケーションを創造する企業になれるよう作るのが将来社会人としての目標です。



カウンセラーから一言

田内 康男(湯布院ロータリークラブ)

湯布院RCが世話クラブとして奨学生を正式に受け入れた初めての人が柳 與民さんです。韓国の大都市であるテク市(244万人)の生まれで現在APUの4年生です。日本語が大変上手で会員からの質問にも詰まることなく受け答えをしています。例会場には早くから来て設営にも協力してくれます。笑顔がとても可愛い人でむさ苦しい男性陣の中であって紅一点穏やかな空気が流れます。就職活動は富士ゼロックスに決まっていますが、将来的には開発途上国の発展に貢献できればとも考えているようです。平成24年9月から平成25年5月までワシントンDCで交換留学生として国際関係の勉強をされたそうで国際機関やNGOでの仕事も語学が堪能なだけに充分務まることでしょう。



モハメット イラム モハメット イシャースハム

世 話 ク ラ ブ 別府北ロータリークラブ
出 身 国 スリランカ
在 籍 校 立命館アジア太平洋大学
会計・ファイナンス(学3)

出身地の紹介

私の出身は、スリランカです。インド洋に位置するととても小さな島です。人口は20億人です。多くの人々は仏教を信仰しますが、キリスト教、ヒンドゥー教、イスラム教を信仰する人もいます。私は、ネゴンボというスリランカの西部に位置する都市から来ました。美しいビーチをもつ海岸沿いの都市で、スリランカの首都から30分ほどかかります。私の出身地は美しいビーチがあったり、イルカがいたり、観光地として非常に有名です。地元の中学校で勉強し、高校は首都にある高校に進学しました。

日本での生活について

私は、別府市に位置する立命館アジア太平洋大学で勉強しました。私は地方で暮らすことが好きなので、美しい景色や温泉がある別府での生活を非常に楽しんでいました。生活費を用意するために、ゆめタウンというデパートとマクドナルドでアルバイトをしています。私は日本中を旅することが好きだったので、東京や大阪、京都といった多くの場所を訪れ、日本の歴史や文化を勉強しました。

今学んでいること

私は立命館アジア太平洋大学の4回生です。国際経営学部にも所属し、特に会計学と金融論を専攻しています。私の研究のテーマは、電子企業に進化する技術革新は企業の財務業績にどんな影響をもっているかについてです。4つの日本企業、2つの韓国企業、3つのアメリカ企業、3つの台湾企業を選び、2002年から2012年までの業績を比較しながら、研究を進めています。

将来の夢や目標

私の夢は、管理会計学における教授になることです。なぜなら、管理会計とは先進国だけではなく、スリランカのような発展途上国で役立つ学問だからです。いつか、私はスリランカの人々に、国の発展のための管理会計の大切さを教えたいです。教授として教壇に立つためにまず、私はビジネスの世界を経験する必要があります。そこで、APUを卒業したのちに、私は日本の企業の管理部門で働き、その後大学院への進学を考えています。そして、教授という最終目標を達成するためにも、博士号を取得します。



カウンセラーから一言

神宮司 円(別府北ロータリークラブ)

日本語も堪能で、とても知識欲に秀でた学生です。自分の将来のビジョンを明確に持ち、その実現に向けてスキルアップの道筋も的確に捉えています。4年間という限られた時間を常に意識し、研究と日本文化の理解を深めようとしているようです。ロータリーへの関心も高く、この奨学金制度が自分の夢の実現へ大きな力になると話しています。



ホン サン ウォン

洪 常 源

世 話 ク ラ ブ 大分1985ロータリークラブ

出 身 国 韓国

在 籍 校 立命館アジア太平洋大学
国際経営学(学4)

出身地の紹介

私の出身地は韓国の全州市(チョンジュウ)というところ。全州(チョンジュウ)は、ソウルから南の方に約200キロ離れているところであり、大分1985クラブの30年間の姉妹クラブでもある都市です。また、チョンジュウは映画祭と韓国料理で有名です。毎年チョンジュウでは映画祭が行われ、世界の人々が祭りのためチョンジュウに集まります。韓国の中でも食べ物が一番おいしいといわれるため全国から飲食観光を来る人々も多いです。特に世界の人々にも知られているビビンパはチョンジュウからできた食べ物であります。

日本での生活について

2009年私が大学に入学した当時は日本語が全くできなかったことや韓国とは異なる文化のことで大変だったです。そのため私は、しょっちゅう別府市民・大分市民との交流を通して日本語を学びながら、少しずつ日本の分かにも慣れました。また、いつも自分の孫、息子のように親切にくださる日本の方々に優しさも感じることができました。そのおかげで現在私は日本の生活に困ることなく、自分の第2の故郷と言うくらい日本の生活に慣れ、日本が好きになりました。

今学んでいること

私は国際経営学部部に所属しており特に金融の勉強をしています。高校時代私は家計が苦しくて、アルバイトで勉強の時間を確保するのが大変だった時があります。その時から人の人生を牛耳るお金は何だろうと思い、お金、つまり金融の勉強を始めました。証券投資大会に参加したり、自分が直接ファンドに投資してみたりしながら金融への興味を上げました。現在は投資資産運用管理者資格の勉強や簿記の勉強で金融の知識を深めています。

将来の夢や目標

私は高校時代、カナダでの2か月間の語学研修を通して世界の色々な人々と出会い、世界は広いことを実感しました。その後、世界を舞台に働くことを目標とし、世界の縮小版ともいわれる立命館APUIに留学しました。毎日多国籍の学生たちと振り合いながら勉学に励んだ結果来年からは、日本にある外資系の会社に入社することがきまり、留学東証の目標に少しは近づくことができました。また、私は高校時代、大学時代家計の問題でほぼ毎日アルバイトしながら学業を続ける大変な時期を過ごした経験があります。そのため、自分が勉強がしたくてもできないときの悲しさや悔しさをよく分かっています。そのため私は、将来ほかの人々は勉強がしたかったら思い切り勉強できるようにサポートするため、ロータリー米山奨学財団のように財団を作り、家計の問題で学業が大変な学生たちを支援することが私の夢です。最初から財団を作り学生を支援することは難しいと思いますが、今から少しずつ準備しながら将来には必ず叶いたいと思います。



カウンセラーから一言

吉良 昌一(大分1985ロータリークラブ)

高校時代の苦労をおもいだしながら夢に向けて努力してください。ロータリー精神(奉仕の精神)を忘れずに世界を相手に事業やっていくには最後には人間との付き合いが大事になります。



シンボルマークについて

重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」です。

外国人留学生の支援・交流を通じて国を超えた信頼関係を築き、
世界の平和を願う“心”を育てるという、事業創設の願いが込められています。
手は、そうした“心”を生み出すと同時に、
当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。



国際ロータリー第2720地区
2014-2015年度
米山記念奨学会部門

作成者：部門長 秋吉 実
発行日：2014年9月20日